

# 哲學研究

第三十五卷 第十冊

第四百八號

昭和二十七年五月二十五日發行

唯識に於ける根據の問題……………服部正明

ヘーゲルにおける現實的なものと  
理性的なもの……………平下欣一

所有と習慣……………山内得立

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために次の事業を行ふ
  - (一) 毎月一回研究会を開く
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 毎月一回「哲學研究」を發行する
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく、委員は京都大學哲學科教官及び委員會において推薦した者に委嘱する
- 一、本會は會員組織とし、會員には資格の制限を設けない、學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することもできる
- 一、會員は會費として年八〇〇圓、又は半年四〇〇圓を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け、會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、本會規約の改正變更は委員會の決議による

## 京都哲學會役員

委員

井	山	矢	三	松	野	西	長	田	武	高	關	島	下	重	上	白	有
島	内	田	村	尾	田	谷	尾	中	内	田	原	芳	程	澤	野	井	賀
	得	部		義	又	啓	雅	美	義	三	太	勇	俊	照	二	鐵	太
勉	立	達	勉	海	夫	治	人	知	範	郎	郎	夫	郎	夫	尙	郎	郎

る。それを宿命といつてもよいが、自然の自發性の中なる宿命なのである。上の限界は悟性の自由である。習慣は一方から他方へ降つてゆく、それはこれら反對者を接近させ、さうすることによつて兩者の内面的本質と必然的結合とを現すのである」(ラヴェツソン、同書)。

(筆者 京都大學文學部「哲學」教授)

(未完)

前 號 目 次

ヘブライ思想に於ける神と 智慧(完)	……………	有賀 鐵太郎
キルケゴールの「受取り直し」……	……………	大 谷 長
危機神學の生成とその展開(未完) 「近世前期フランス精神史論」	……………	樋 元 和一

次 號 豫 告

所有と習慣(完)……………	……………	山内 得立
フランツ・ボアズ……………	……………	堀 喜 望
「その歴史の概念について」	……………	
カントに於ける「取り残された」……	……………	青 木 茂
空間の諸問題……………	……………	

# 會 告

- 一、本會へ入會希望の方は京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛に規定の會費をお拂込下さい  
「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
- 一、前金切れの場合は帯封に「前金切」の印を捺しますから直ちに御拂込下さい
- 一、會員の轉居入退會等（編集事務以外は一切）の事務は弘文堂内京都哲學會係へ御通知下さい
- 一、本誌の編集に關する通信・新刊書寄贈雜誌等はすべて本會宛にお送り下さい

京都大學  
文學部内  
**京都哲學會**

## 註 文 規 定

- 一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下さい
- 一、本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にてお送り下さい
- 一、特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓をお送り下さい

昭和二十七年五月二十日印刷  
昭和二十七年五月廿五日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會  
京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

發 行 人 三 村 勉  
酒 井 明

印 刷 人 伊 藤 久 春  
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所 弘 文 堂 印 刷 部  
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所 株 式 會 社 弘 文 堂  
東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 區 四 ノ 四

價 定		冊 數	定 價	郵 稅
一	冊	七 十 圓	金 八 圓	
六册(前金)		四 百 二 十 圓	金 四 十 八 圓	
三册(前金)		八 百 四 十 圓	金 九 十 六 圓	

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

THE JOURNAL  
OF  
PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XXXV

May, 1952

No. 10

---

---

*Possession and Habit (I)* ..... Tokuryu Yamauchi

*What is Rational and What is Actual  
in Hegel* ..... Kin-ichi Hirashita

*The Problem of the 'āśraya' in the  
Philosophy of Vijñānavāda* ..... Masaaki Hattori

Published Monthly

By

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan